

活動案内 2012

# 「子供の森」計画

## in インドネシア



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。人口の急増や工業化等に伴う森林伐採や大気汚染など様々な環境問題が深刻になっているインドネシアでは、政府機関と連携しながら、子どもたちへの環境教育や地域ぐるみの植林活動を積極的に展開しています。

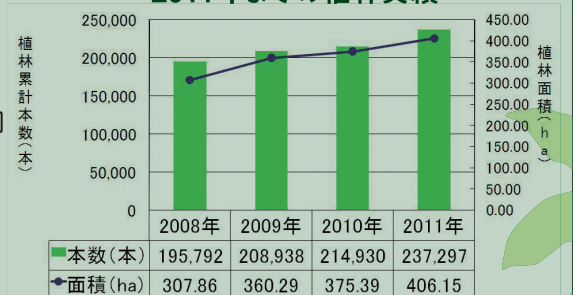


### 2011年の活動

- 2011年は75の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林22,367本・面積30.76ha）
- Green School Movementの日に西ジャワ州の一斉植林へ参加し、一度に16,000本を植林!例年を上回る植林実績となりました

「子供の森」計画参加学校数(1993年からの累計値) : 292校

### 2011年までの植林実績



## インドネシア



- ◆ 人口 : 237,641百万人 (2010年IMF推計値 日本は127,594百万人)
- ◆ 面積 : 約189万km<sup>2</sup> (総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km<sup>2</sup>)
- ◆ 一人当たりGDP : 3,469 US\$ (2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$)
- ◆ 森林率 : 52% (2010年FAO公表値 日本は69%)
- ◆ 「子供の森」計画積極展開地域 (丸印) : スマトラ島、ジャワ島、東部諸島



インドネシアの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

→ 「子供の森」計画情報提供サイト [www.kodomo-no-mori.info](http://www.kodomo-no-mori.info)



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人  
**オイスカ**

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12  
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org  
<http://www.oisca.org/>



## 学校に植えられている様々な木

子どもたちはたくさんの  
木の名前を覚えたよ

スレン、ジャボン、マレーアップル……。2011年12月、活動が2年目となったバトゥルサリ小学校では、植林に先立ち、木の名前とその役割、育て方を勉強する時間が設けられました。

子どもたちはみな、木の名前は聞いたことがあっても、実際にどの木がどういう名前かは自信がありませんでした。そしてその役割や育て方まで勉強するのは初めての事。みんな興味津々で勉強していました。勉強のあとは実践です！早速学んだ木々の苗木を手に持ち、校庭に合計185本の植林を行いました。

そして環境絵画コンテストも行われました。木を植えた様子を描く子どものたちの口からは、木の名前やその役割が次々に飛び出し、楽しい一日の活動の間にすっかり名前を覚えてしまったようでした。これからは、名前や役割が知ら

れている木々は子どもたちにとってさらに親しみのある存在となって大きく成長し、また子どもたちも、木の先生となり、下の学年の子どもたちに、木の名前や役割を教えていってくれることでしょう。



絵画コンテストで木の名前もしっかり覚えしました

植林する木々を手に



## 僕たちの島とマングローブ

島国なのでマングローブ林は  
とっても大切

インドネシアは世界で2番目に長い海岸線を持つ国で、海に面した場所で暮らす人々が大勢います。海岸線にはかつてはマングローブ林が広がっていましたが、大規模な養殖場の整備や、薪としての利用などの様々な理由から伐採され、面積が激減してしまいました。マングローブ林は、海辺の生物を育み、波から国土を守る役目を果たしていましたが、それが失われたことで人々の生活に支障をきたしました。そのため、1990年代後半からオイスカは地域の人々と共にマングローブ植林を始め、2009年からマドゥラ島でも植林を開始しました。

11年12月、インドネシアの「子供の森」計画に参加する8つの学校の子どもの代表が、この活動現場を訪問しました。オイスカのスタッフからマングローブ林の役割や、その重要性について説明を受けた後、植林地まで歩いて行

き、マングローブ植林を体験しました。ぬかるみに足をとられながらも、子どもたちは初めての経験に目を輝かせていました。「また来たいね」と話しながら帰って行った子どもたち。彼らがマングローブについて学び、これから先も守っていけるよう、これからも「子供の森」計画の中でもマングローブ植林の活動を続けたいと思います。



ぬかるみに足をとられながらも一生懸命植えました

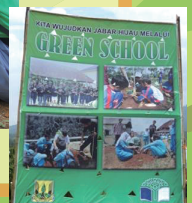
## TOPICS

### 記録達成! 1日で11,000,000本の植林

2011年12月27日、西ジャワ州ではGreen School Movementの記念式典が行われ、政府関係者、住民、子どもたち500名以上が参加しました。この日、州全体で植林活動が行われ、植えた本数はなんと合計11,000,000本!1日に植林された最多本数として、インドネシア版ギネスブックに記載されました。「子供の森」計画の学校の子どもたちもこれに多いに貢献し、スカブミ県の16校では、子どもたちと住民が参加し、それぞれ1,000本ずつ植林しました。この大変な記録を打ち立てた事は、住民、子どもたちにとって大きな自信となりました。



センターを訪問し環境問題について学ぶ子どもたち



キャンペーンを伝えるバナー